

倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和元年9月9日（月） 18:15～19:00 きらめきB
構成員	<p>（委員長） 辻川副院長 （副委員長） 目片副院長 （委員） 内科診療部長、薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 外科診療部長 （外部委員） 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表</p> <p>（オブザーバー） 院長 （事務局・書記） 管理課長</p>
議 事 概 要	
<p>（1） 前回申請課題(条件付承認)について</p> <p>① 2019-10 申請者： 課題名：「副甲状腺腫瘍手術時のメチレンブルー使用」 （別紙資料に基づき修正内容について報告）</p> <p>② 2019-11 申請者：村山 仁衣菜 課題名：「全身麻酔の術後HCUに入室する患者へのHCU看護師が行う術前訪問の導入～パンフレットを使用した術前訪問～」 （別紙資料に基づき修正内容について報告）</p> <p>③ 2019-14 申請者：鳩 彩乃 課題名：「患者体験型勉強会を取り入れた、車椅子座位時の褥瘡予防の取り組み」 （別紙資料に基づき修正内容について報告）</p> <p>④ 2019-15 申請者：生田 一幸 課題名：「A病院に緊急搬送された患者の臨床像と気象条件などの外的要因との関連」 （別紙資料に基づき修正内容について報告）</p> <p>（2） 申請課題について</p> <p>① 2019-18 申請者：瀬戸 亜里沙 課題名：「当院独自のチェックシートを用いたハイリスク妊産婦の選定の実践と評価～ハイリスク妊産婦への継続支援～」 （申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明）</p>	

議 事 概 要

概 要：統一した選定方法でハイリスク妊産婦の抽出を行い継続支援に繋げることを目的とし、その効果とチェックシートの評価を行うこととする。

審査判定：本件については承認

② 2019-19 申請者：外川 翼

課題名：「大腿骨頸部骨折・大腿転子部骨折術後患者の踵部の褥瘡予防方法の検討～ワセリンによる保湿を実施して～」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：体位変換や除圧に加えて保湿を行うことで褥瘡発生予防に繋がると考え、昨年度褥瘡発生が多かった大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折術後の踵部の褥瘡に焦点を当てて、踵部の保湿による褥瘡予防の効果を明らかにする。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・オプトアウトに撤回できる旨を記載すべきである。
- ・褥瘡予防の効果を見る上でも過去の褥瘡発生率のデータと比較すべきである。

③ 2019-20 申請者：井上 睦美

課題名：「外来における看護師のストレス実態調査-NJSS調査を通して」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：お互いがより助け合い働きやすい環境づくりにするための一助にするため、ストレス実態調査を行うこととする。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・調査対象者が特定されないようフェースシートの項目について見直すべきである。
- ・本アンケート調査については、ストレスチェックとは異なるものであることを明記すべきである。

④ 2019-21 申請者：湯上 幸子

課題名：「呼吸器外科肺切除術における低体温予防のための術前プレウォーミングの効果」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：呼吸器外科肺切除術患者において、10分間のプレウォーミングを実施することで低体温予防に効果があるかについて検証を行う。

審査判定：本件については承認

⑤ 2019-22 申請者：目片 英治

課題名：「院内がん登録とDPCを使ったQI研究（2017年症例）」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

議 事 概 要

概 要：院内がん登録とDPCの一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに活用方法を検討することを目的とする。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

・ 4 (3) で倫理委員会の審査を希望する理由としては、がん患者を特定する情報を取り出すと言うと書くべきであるが、「自施設のがん医療の均てん化と地域医療のがん医療の実態を分析するため」と記載されており、研究の目的について記載しているため、修正が必要である。

⑥ 2019-23 申請者：目片 英治

課題名：「令和元年度滋賀県がん患者調査事業」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：滋賀県在住で県内のがん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・がん診療連携支援病院に入院または通院する18歳以上がん患者に対して、受療状況、暮らしや医療に対する満足度やがん医療に関する認知度などの項目をアンケート調査によって収集し、県が取り組むべき課題を明確化し、また、県内のがん患者の姿をまとめ、公表することで、県民の「がん」への関心と理解を深めることを目的とする。

審査判定：本件については承認

⑦ 29-26 申請者：赤堀 浩也

課題名：「尾側腓切除術に対する術中ステント留置の安全性と術後腓液漏予防効果の検討」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：目標症例数に達しなかったため実施期間について1年間の延長を申請する。

審査判定：本件については承認

(3) その他

倫理委員会委員について、開催要件として女性委員1名を含むとなっているため、現状2名しかいないため10月1日付で石河産婦人科医長を構成委員とすることとする。

(4) 次回開催日について

令和元年10月15日(火) 受託研究審査委員会終了後

以 上